

大阪府教員等育成指標について

OSAKA教職スタンダード

スクールリーダースタンダード

## 「大阪府教員等育成指標」について

「大阪府教員等育成指標」は、①「OSAKA教職スタンダード（共通の指標）」 ②「OSAKA教職スタンダード（職に応じた指標）」 ③「スクールリーダースタンダード」の3つから成り、そのうち①「OSAKA教職スタンダード（共通の指標）」は、学校種を越えた共通のものであり、全ての教員等に求められる資質・能力をキャリアパス（経験や職責）に応じて整理したものです。

また、②「OSAKA教職スタンダード（職に応じた指標）」は、3つの専門領域（「支援学校（学級）の教諭」「養護教諭」「栄養教諭」）、③「スクールリーダースタンダード」はスクールリーダーとしての役割に応じて指標を設定しています。

## 指標の対象

## （学校種の範囲）

公立の小学校、中学校、義務教育学校、府立学校（高等学校、支援学校、中学校）

## （教員等の範囲）

校長・准校長、教頭、首席、指導教諭等、教諭、養護教諭、栄養教諭、養護助教諭、講師

## 職に応じた指標（3つの専門領域）



支援学校（学級）  
の教諭

養護教諭



OSAKA  
教職スタンダード



スクールリーダー  
スタンダード

栄養教諭



## 「キャリアステージ」

「OSAKA教職スタンダード」は、共通に求められる資質・能力を、教員等の経験や適性、職責に応じて「第0期」から「第4期」までの5段階のキャリアステージに分けて整理しています。

教職に就く前の準備段階を「第0期」、教職については、初任期にあたる「第1期」に始まりミドルリーダーとして発展・深化する「第2期」「第3期」を経て、キャリアの成熟期にあたる「第4期」まで、5段階のキャリアステージに対応づけています。

## 第4期 キャリアの成熟期

分掌や学年など校内組織の長を担うなど学校運営上の重要な役割を担当する。豊富な経験を生かし、広い視野で組織的な運営を行う。

## 第3期 ミドルリーダー深化期

分掌や学年など校内組織のミドルリーダーとして専門性や自らの実践をもとに組織を活性化する。同僚や経験の少ない教員への指導的役割を担う。

## 第2期 ミドルリーダー発展期

知識や経験に基づき専門性を高め、積極的に実践を積み重ねる。教員としての自立期。

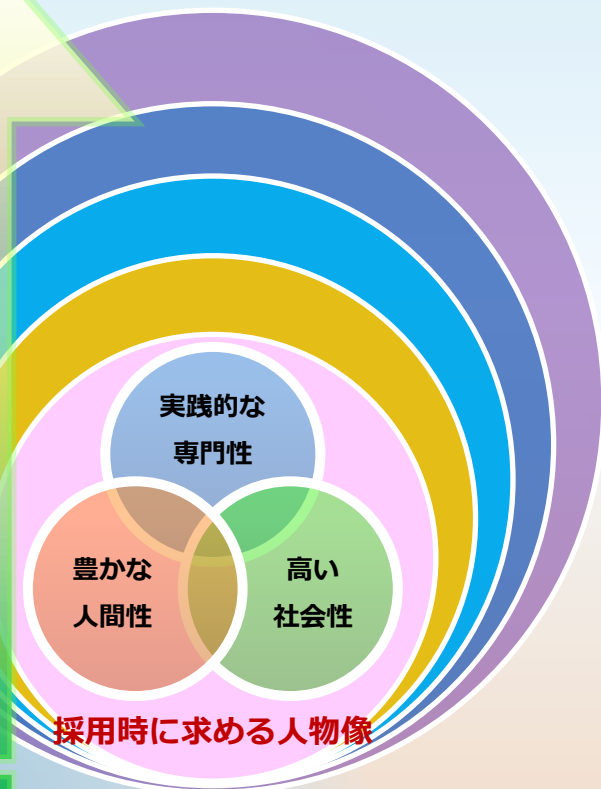
## 第1期 初任期

教員として基礎的な力や実践力を身に付けている。

## 第0期 採用時（教員養成期における到達目標）

大阪府が採用時に求める教員としての資質・能力。求められる教員像。

学び続ける教員



## 豊かな人間性

- ・人権意識を持ち、他者を思いやることができる人
- ・子どもの悩みや思いを共感的に受け止め、信頼関係を構築することができる人

## 実践的な専門性

- ・学校教育を取り巻く環境の変化に対応し、学び続けることができる人
- ・教科や教職に関する専門的知識を備え、子どもの可能性を伸ばす実践的指導力がある人

## 高い社会性

- ・チームの一員として組織的・協働的に課題に取り組む姿勢を持つ人
- ・他の教職員や保護者、地域の人々と良好な人間関係を構築することができる人

大阪府が採用時に求める人物像